

令和6年度

ニューノーマル GUNMA CLASS PJ

県内全ての小・中・義務教育学校の

全ての学年・教科で少人数指導を実現

群馬県教育委員会学校人事課

1 趣 旨

◎ 教育イノベーションの一環として、1人1台端末の効果的な活用により、一人一人の特性や学習進度等に応じた「個別最適な学び」と、答えが一つではない課題や答えのない課題に対応する「協働的な学び」を推進し、群馬ならではの新しい学びを確立する。



2 方 針

全学年において少人数学級編制を実施

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
群馬	30人	30人	35人						
国標準	35人	35人	35人	35人	35人	40人	40人	40人	40人

3 実施方法

少人数学級編制に必要な定数は、国加配の活用と、県単独予算を活用して配置した教員で対応する。

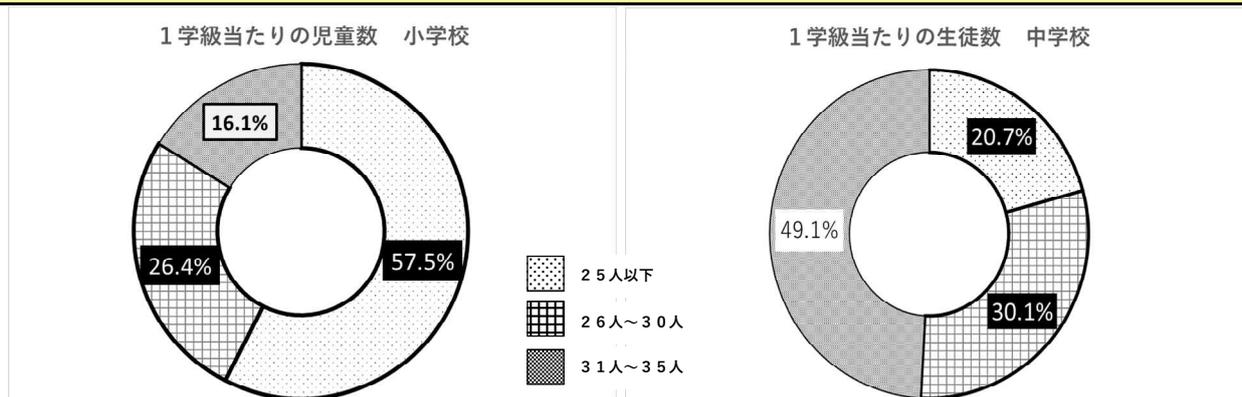
令和6年度予算額（県単）

721,000千円

令和5年度 ニューノーマル GUNMA CLASS PJのまとめ

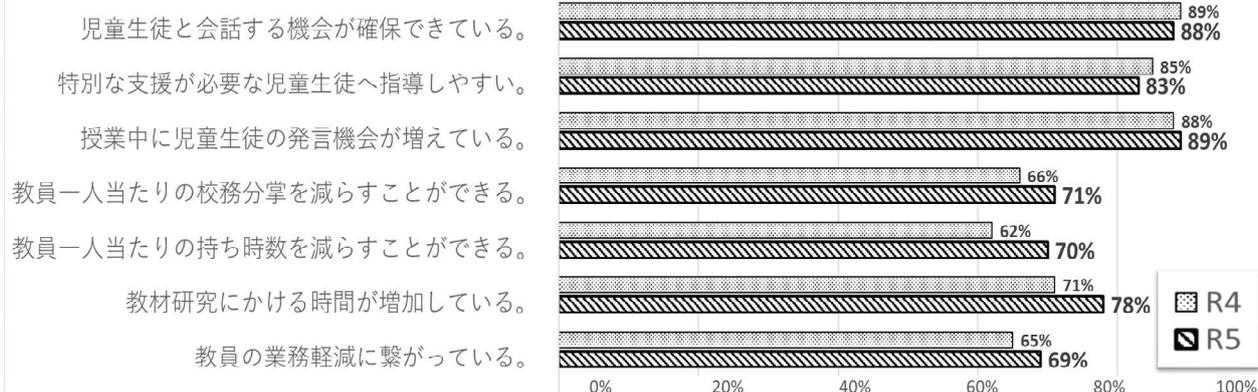
群馬県教育委員会 学校人事課

小学校の83.9%、中学校の50.8%の学級で30人以下の少人数学級が実現しています



	国標準での学級編制を行った場合
30人以下の学級編制	小学校72.7%、中学校30.2%
36人以上の学級編制	小学校4.9%、中学校35.5%

ニューノーマル GUNMA CLASS PJ アンケート結果（令和5年9月実施）



各学校から寄せられた声(アンケート自由記述より)

児童生徒の学校生活が充実しています

- ・少人数学級編制により担任・児童ともに空間や時間、心身のゆとりにつながり、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実現に繋がっていると感じている。(小学校)
- ・生徒に向き合う時間が増え、一人一人の表情の変化や悩み等について、きめ細かく観察することができた。また、時間的な余裕・担当する生徒の人数が少なくなったことにより、担任が生徒一人一人の良さを理解し、その良さを褒めることが多くなり、生徒の自己有用感の高揚に役立った。(中学校)

児童生徒一人一人に対するきめ細かな指導が充実しています

- ・少人数学級編制により、児童一人一人に対してきめ細かく声をかけることができ、学習指導、生徒指導、問題行動の未然防止や早期発見等において大変効果があった。(小学校)
- ・少人数学級編制に加えICTを活用することにより、今まで以上に学習指導が充実している。また、生徒の個別対応はもちろん、非認知能力の育成にも大きく寄与している。(中学校)

課題

- ・少人数学級により児童数が少ないことで、教師と児童の会話は増えるが、多くの児童による多様な考えに触れる機会が少なくなってしまう課題がある。(小学校)
- ・中学校では、生徒主体で行事等を企画・運営することで成長を図る場面が多い。その際、1学級あたりの生徒数が多い方が指導しやすかったり、生徒同士の交流も活発になったりする。(中学校)